

2025年3月期 第1四半期決算概要

- 円安影響もあり増収だが、欧州における経済減速の影響を大きく受けた建築用ガラス事業を中心に減益
- 第1四半期の実績を踏まえ、上期および通期の営業利益等の各利益予想を下方修正。
グループ全体でのさらなるコスト削減等、利益改善に向けてあらゆる施策を実施
- 新中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」は、逆風の中でのスタートながらも、引き続き収益性の向上によりキャッシュ創出力を高め、財務基盤の改善に注力

1. 2025年3月期 第1四半期決算

- 売上高は2,164億円（前年同期比+85億円、+4.1%）、営業利益は48億円（同△98億円、△67.3%）と、増収減益。売上高は販売価格の改善や円安に伴い自動車用ガラス事業が寄与したが、営業利益は欧州の経済減速の影響を受け、建築用ガラス事業を中心に全事業で減益
- 金融費用（純額）は60億円と、前年の64億円から4億円改善。持分法による投資利益は11億円（同+1億円）に改善。前年度は、ロシアにおけるジョイント・ベンチャー売却に伴い、一過性の利益として持分法適用会社に対する金融債権の戻入益37億円と、持分法投資に関するその他の利益11億円を計上
- 法人所得税は通期の見積実効税率に基づき計算した結果26億円の費用のマイナス（前年同期は57億円の費用）となり、これにより当期利益は27億円（前年同期比△49億円、△64.8%）、純利益は24億円（同△46億円、△65.8%）となり、逆風の中でのスタート
- 自己資本比率は、13.9%（前期末比+1.6pt）に改善。
フリー・キャッシュ・フローは、運転資本の季節変動等により317億円のマイナス（前年同期比△1億円）。有利子負債は5,418億円（前期末比+354億円）

<損益計算書および財務指標>

(億円)	4-6月期（3か月）		
	2024年 3月期	2025年 3月期	差異
売上高	2,080	2,164	85
営業利益	146	48	△ 98
営業利益率	7.0%	2.2%	△ 4.8pt
個別開示項目（純額）	△ 8	2	9
個別開示項目後営業利益	138	49	△ 89
金融費用（純額）	△ 64	△ 60	4
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	37	-	△ 37
持分法による投資損益	10	11	1
持分法投資に関するその他の利益	11	-	△ 11
税引前利益	133	0	△ 132
当期利益	75	27	△ 49
純利益*	70	24	△ 46
EBITDA	253	175	△ 79
フリー・キャッシュ・フロー	△ 316	△ 317	△ 1

*親会社の所有者に帰属する当期利益

(億円)	2024年 3月末	2024年 6月末	増減
総資産	10,076	10,585	509
親会社の所有者に帰属する持分	1,243	1,473	230
自己資本比率	12.3%	13.9%	+1.6pt
有利子負債	5,065	5,418	354

<各事業の概況>

建築用ガラス事業	欧州を中心に多くの地域で販売数量が減少し販売価格も下落したため、前年同期比で減収減益。ドイツのフロート窯での定期修繕前の早期生産停止を実施。太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調継続。昨年12月からマレーシアの新設備での生産も収益に貢献。米国の既存フロートラインの転換も順調に進捗
自動車用ガラス事業	価格転嫁の進展と円安による影響もあり増収。営業利益は人件費等その他コストが上昇した影響を受け減益
高機能ガラス事業	市場回復の兆しに伴い多くの事業で需要が回復し増収だが、営業利益はその他コスト増加に伴い前年同期と同水準

(億円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比
	4-6月期	4-6月期	
売上高			
建築用ガラス事業	958	902	△ 55
自動車用ガラス事業	1,009	1,136	127
高機能ガラス事業	100	124	24
その他	13	2	△ 11
売上高合計	2,080	2,164	85
営業利益			
建築用ガラス事業	119	33	△ 86
自動車用ガラス事業	32	25	△ 7
高機能ガラス事業	21	20	△ 1
その他	△ 27	△ 31	△ 4
営業利益合計	146	48	△ 98

2. 2025年3月期 業績予想

- 欧州経済の減速の影響を大きく受けた第1四半期の業績を踏まえ、上期および通期の営業利益、税引前利益、当期利益、純利益予想を下方修正
- 主要通貨について2024年3月期より円高の見込は不変
- エネルギー価格や原材料価格は安定的に推移するものの、インフレ傾向を反映し人件費等その他コスト増加は継続
- グループ全体でのさらなるコスト削減等、利益改善に向けてあらゆる施策を実施

<業績予想>

(億円)	2025年3月期 予想 (前回)		2025年3月期 予想 (今回)		増減	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	4,100	8,400	4,100	8,400	0	0
営業利益	160	370	120	300	△40	△70
個別開示項目(純額)	-	-	-	-	-	-
個別開示項目後営業利益	160	370	120	300	△40	△70
金融費用(純額)	△ 140	△ 290	△ 130	△ 280	10	10
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	-	-	-	-	-	-
持分法による投資利益	25	50	25	50	0	0
持分法投資に関するその他の利益	-	-	-	-	-	-
税引前利益	45	130	15	70	△30	△60
当期利益	20	60	10	20	△10	△40
純利益*	10	40	0	0	△10	△40

*親会社の所有者に帰属する当期利益

3. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」における財務目標の進捗状況

「2030 Vision : Shift the Phase」財務目標の主な進捗



欧州経済の影響を受け、逆風の中でのスタート。
引き続き収益性を向上させキャッシュ創出力を高め、財務基盤を改善することに注力

		2027年3月期 目標	2030年3月期 目標	2025年3月期（4-6月期） 実績
収益性 (P/L)	営業利益	640億円		48億円：2024年3月期第4四半期（38億円）からは改善したが、業績予想に対しては逆風の中でのスタート
	営業利益率 (ROS)	7%	10%以上	2.2%：2024年3月期第4四半期（1.7%）から改善
▼				
キャッシュ創出 (C/F)	フリー・キャッシュ・フロー	270億円		△317億円：前年同期と同水準。営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資本の季節的増加の抑制が営業減益の影響を軽減
▼				
財務基盤の安定化 (B/S)	有利子負債	4,420億円		5,418億円：運転資本の季節的な変動に伴うフリー・キャッシュ・フローのマイナスにより増加
	自己資本比率	15%		13.9%：前期末から1.6pt改善

＜お問い合わせ＞（報道関係等）広報部

Tel : 03-5443-0100